

高槻市議会議員(草の根市民派)

# 二木洋子

ふたきようこ



## ユアサ工場跡地開発 関大に財政支援は不必要！

3月議会報告



JR高槻駅北東にあるユアサ工場跡地の開発は、民間事業者から超高層ビルの建設を可能とする都市計画案が提案され、重要な段階に入りました。

2月26日の市街地整備促進特別委員会では、「将来人口推計から、高槻の活力を高めるには交流人口を増やす必要があり、関大進出は年間7万7千人の交流人口を生み出す。また、『知と文化の創出』のため、早急に関大と基本合意書を結ぶ」との報告がありました。合意書案は「市が土地を買い、関大に無償貸与する等の支援を行い、関大は施設開放など地域貢献に努める、また本年10月に工事着工をめざし市は全面的に協力する」という内容でした。

「交流人口増や『知と文化の創出』という理念を突然持ち出し、関大支援策の裏付けにするのは納得がいかない」「関大の大学生は約千人、小・中・高校生も約千百人であり、これでは交流人口増とはいえない」「『知と文化の創出』というのなら具体的中身を示すべき」「小中高一貫校の立地に支援するのは選択肢を増やすとの答弁だが、私学には誰もが入学できるわけではなく、選択肢を増やすことにならない」「10月工事着工は当初計画より早まってお

り、住民合意の手続きを考えるなら実際にできるかどうか疑問」「6月議会以降に支援額を明らかにするというが、合意書案は特別委への報告だけでなく、議会の同意を得て締結すべき」と主張し、私は、関大への財政支援は不必要と合意書締結に反対しました。しかし、市長は2月29日に締結をしました。なお、土地買収費は数十億円と予測されています。

### ■ 住民無視の都市計画決定手続き

3月7日の市街地整備促進特別委では、「環境アセスが終了、3月3日に事業者から都市計画提案があり、市として検討、周辺道路の都市計画変更も含めた都市計画素案を作成した。市民意見もふまえた都市計画案を7月の都市計画審議会(委員20名)にかけ、都市計画決定する」との報告がありました。

都市再生特別措置法では、都市再生緊急整備地域内では民間事業者が都市計画提案を行うことができ、かつ提案があれば6ヶ月以内に都市計画決定を行わなければならない。住民合意を得る手続きが軽視されているのですが、今回はその手順よりも短く、提案後わずか4ヶ月で決定をするというのです。

事業計画は、関大校舎の高さはそのまま、12階建てから13階にするなどの変更がありましたが、150mの超高層マンションは変更無しです。

高さ規制について、淀川から見て山並みを切らなければいいという市の考えに対し、私は、市の玄関口から見て山並みを切るべきでない」と主張、容積率550%、超高層マンションOKという都市計画素案に反対しました。なお、土壌汚染調査は、新たに民家でも行われていることが明らかになりました。

(写真は、汚染土壌搬出が進むユアサ工場白梅地区)

## 不透明な農協ビル建設補助！

## 補助金

市長は昨年6月議会の施政方針で、市役所東側で建替え中の農協ビルについての支援を明らかにしていました。ところが、年度末になり、突然、建設費補助として2億5千万円を2007年度補正予算に計上しました。設計・施工管理費と建築工事費分16億2千万円のうち、市民が使える会議室のある2階と5階フロア - 分を補助するという説明です。

補助金は公益性がなければ支出できません。市民の使える会議室が逼迫している状況を質しましたが、明確なデータは示されず、これでは、市民ニーズの

ある、公益性のある補助金とはいえません。

また、農協から建設費補助の要望書が出ているのか、建設費用はいくらというような事業計画書も提出されているのか確認したところ、それらも提出されていないことが明らかになりました。

しかも、高槻市の補助金交付要綱では、原則12月15日までに申請をしなければならないとあり、市交付要綱すら守らない手続きは納得がいきません。

公益性も認められず、手続きも不透明、このような補正予算には反対しました。

## 行革のための幼稚園問題審議会設置に反対！

## 行財政改革

保護者の反対を押し切り、市立幼稚園の大規模な統廃合が行われたのは1986年です。以来約20年ぶりに、幼稚園問題審議会の設置が提案されました。幼稚園に関する総合的施策について調査審議をするため、昨年の「就学前の教育・保育・子育て支援策の検討会」の報告をふまえてとの説明でした。

しかし、本年1月に策定された第7次行財政改革大綱実施計画の中には、すでに、外部化（アウトソーシング）を進める9事業の一つに「幼稚園業務の見直し」が入っています。そこには、2008年度審議会設置、2009年度審議会運営、2010年度廃園や統廃合、民営化と書かれています。

そこで、これでは結論ありきの審議会であり、検

討会の報告を受けるのなら、就学前の幼稚園、保育園、子育て支援策をトータルにどうするかを検討すべきであり、幼稚園だけを議論するのはおかしいと質しましたが、明確な答弁はありませんでした。

子育て中は、できるだけ送迎に時間のかからない地域の幼稚園に通わせたいというのが保護者の願いです。高槻市では、小学校の敷地の中に幼稚園があるのが大きな特徴です。現在5歳児と4歳児1クラス（35人）しか受け入れていませんが、3歳児や4歳児を受け入れれば、定員割れはなくなります。

市立幼稚園の経費には地方交付税措置もされており、市の負担が多いという説明にも納得がいかず、私は行革ありきの審議会設置に反対しました。

## 事業系ごみ処理手数料の適正化を！

## 手数料

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」では、事業系一般廃棄物の処理責任は事業者にあります。しかし、高槻市では、1994年の廃棄物処理手数料改定時、全額を事業者に課すのではなく、半分は公費で補助していこうという方針が出されました。当時のごみ処理原価はキロ16円でしたが、半分は公費負担で、処理手数料をキロ8円にし、かつ許可業者には減免してキロ4円としました。許可業者収集分については、1キロのごみを処理するのに16円かかるともかかわらず、4円しかもらわず、12円を税金で負担するという事になったのでした。

そこで、現在はごみ処理にキロ当たりいくらかかっているのか質したところ、26.5円とのことでした。これでは、許可業者収集分についてはキロ当たり

22.5円も税金で負担していることとなります。本年度の事業系ごみの許可業者収集分は5万5598トンと予想されており、掛け合わせると、約12億5千万円も税金で負担することとなります。この実態は、法の趣旨からすると不適切だと指摘しました。

ごみは、処理手数料が安いほうへ流れます。この4月、吹田市では処理手数料がキロ4.5円から7円に値上げとなり、減免制度もありません。減免制度はすでに府内でも見直しが進んでおり、12市を残すのみです。高槻市でも、現在の事業系ゴミ処理手数料や減免制度について、法の趣旨に沿って見直すよう要望しました。



## ■ 学校図書館に司書の配置を！

昨年4月の市長選挙で、奥本市長は小学校41校の学校図書館に司書をおくと約束していました。3月議会の提案では、学校図書館支援員を配置し、資格は司書や司書教諭の資格を問わず、学校図書館での実務経験があればよいというものでした。

子どもが本に親しむためには、学校図書館の充実が重要です。先進市をみてもわかるように、資料に通じた専門職の配置と蔵書の充実が不可欠です。

そこで、子どもや先生が必要とする資料について知識のある専門職が必要ではと質したところ、専門

の資格のみを期待しているというものではないとの答弁でした。司書といえば図書館法にいう専門職をさすのであり、これでは公約違反です。

しかも、08年度の本の購入予算は約2500万円と昨年並みでした。このままでは1校当り蔵書数の文部科学省基準をとうていクリアできません。

学校図書館の運営は、再雇用の先生方が担っておられるのが現状で、専門資格を問わない支援員の配置はかえって混乱を起こすのではと指摘し、あらためて専門職の配置と、蔵書の充実を要望しました。

## ■ 当事者の声を反映した計画策定を！

夫や恋人からの暴力(DV)は女性の基本的な人権を侵害するものですが、従来は家庭の中の問題とされ犯罪として扱われませんでした。超党派の女性国会議員の努力で2000年12月に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が制定され、この間2度の改正で、DV防止、被害者支援の施策の拡充が図られています。この1月の改正では、被害者本人だけでなく親族等への接近禁止命令がとられるようになるなどの保護命令制度の充実とともに、都道府県に義務付けられていたDV防止及び被害者保護の基本計画策定と配偶者暴力相談支援センターの設置を、市町村にも努力義務を課しました。そこで、高槻市や府の相談支援センター(吹田)へ

の相談件数や計画策定についての考えを質したところ、件数は増加傾向にあり、08年度の府の基本計画改定にあわせて検討していくとの答弁でした。

4月から男女共同参画課が本庁からJR高槻駅前の男女共同参画センターに移動することから、相談については被害者の立場にたって対応を充実させていきたい、また、計画策定については、DV被害者支援にかかわっている方などの声が反映できるようにしていきたいと強く要望しました。



## 女性の権利

## ■ 専用窓口の設置を！

75才以上の多くの方は、高槻市国民健康保険に加入されていますが、扶養家族として子どもの社会保険等に加入しておられる方や、現役で社会保険に加入されておられる方もあります。

75歳以上の方全員を対象に4月から始まった後期高齢者医療制度は、個人加入で、年金や所得額により保険料が決まり、介護保険料のように原則年金から天引きされます。子どもの扶養家族に入っていた方々も4月から新たに負担しなければなりません。2年間に限り激変緩和措置がとられています。

この医療制度の運営は、都道府県単位でつくられた広域連合が行い、保険料は広域連合議会が決めました。大阪府の場合、平均年額10万1145円で、全国3位という高さです(前号参照)。ただし、今までの保険料と比べて上がるのか、下がるのか、個々

のケースにより負担額の増減は異なります。

また、この制度では市町村には何の決定権、権限もなく、窓口対応しかできません。そこで、窓口の混乱が予想される時期やその対応について質したところ、3月下旬の保険者証送付時、4月上旬の仮徴収額決定通知時、4月中旬の年金引落とし時、7月の本算定の保険料通知時、10月から保険料引落とし時に混乱が予想され、できるだけ待ち時間が短くなるよう、対応を検討していきたいとの答弁でした。

この制度には反対ですが、始まる以上、75歳以上の方のことを考え、医療課(資格、給付)と国民健康保険課(保険料)と2つの窓口で電話や窓口対応時にたらいまわしにならないよう、後期高齢者医療制度専用窓口の設置を、そして個々のケースに応じていねいに相談にのるよう要望しました。

## 後期高齢者医療



第6回 今、医療・福祉はどこへ向かっているか

- 弱者切り捨て、健康増進社会のもたらすもの -

4月から始まった後期高齢者医療制度や特定健診制度の背景に何があるのか、医療制度改悪の本音をさぐります。

日時：6月1日(日)午後2時~4時半

講師：山口研一郎さん(医師、現代医療を考える会代表)

場所：総合市民交流センター5階視聴覚室 資料代：500円

2008年5、6月議会 審議日程

月日	曜	会議名	内容
5月21日	水	本会議(第1日)	諸般の報告
5月22日	木	本会議(第2日)	各特別委員会中間報告
5月23日	金	本会議(第3日)	議案審議(即決)、役員を選任
6月11日	水	本会議(第1日)	諸般の報告、(即決)、提案理由説明
6月13日	金	本会議(第2日)	質疑、委員会付託
6月17日	火	建環産業委員会 福祉企業委員会	休会中の付託事件審査
6月18日	水	文教市民委員会 総務消防委員会	休会中の付託事件審査
6月26日	木	本会議	委員長報告、採決 一般質問
6月27日	金	本会議	一般質問

政務調査費(月7万円)が4月より会派から個人支給になり、領収書の公開も義務付けられ、議員の説明責任が問われ、透明性が図られることになりました。私も、4月からは厳しい基準で使わせていただくことになりました。使途、調査内容は公開いたします。なお、2008年3月までの政務調査費返上額は、1281万円になりました。JR高槻駅北東地区開発(ユアサ工場跡地)については、まだまだご報告したいことがあります。ご連絡いただければ、伺います。「二木洋子とともに住民自治をすすめる会ニュース」には、毎議会、主な議案に対する各議員の賛否の状況、一般質問者名などを掲載しています。ご希望の方には、お送りいたします。

6月議会の市政報告会は下記の通りです。お待ちしております！

6月29日(日)午後2時~4時 二木事務所

- 報酬公開(2008年1月~3月) -

	1月	2月	3月	
収入	報酬	660000	660000	660000
	報酬(*1)	0	0	0
	合計	660000	660000	660000
支出	所得税	34400	34400	34400
	住民税	54100	54100	54100
	国民年金	14100	14100	14100
	共済掛金	89900	89900	89900
	国民健康保険	55300	55300	55300
	厚生会費	2000	2000	2000
	生活費	180000	180000	180000
活動費	230200	230200	230200	
合計	660000	660000	660000	

\*1 審議会委員報酬

\*2 わさび通信第108号等

<活動費内訳>		
収入	1月分	230200
	2月分	230200
	3月分	230200
支出	繰越金	119831
	合計	810431
	事務所維持費	623407
	電話代	11855
	交通費	13260
	印刷費(*2)	181912
	郵送費(*2)	163660
	資料・研修費	122585
	文具・IT費等	34588
	合計	1151267
繰越金	-340836	

いきいき日誌

1月~3月

- 1/ 6 消防出初式 8教育委員会定例会傍聴
- 8 府知事選挙マニフェスト公開討論会
- 9 府知事選候補者公開討論会
- 11 環境影響評価委員会傍聴 14成人祭
- 15 ふえみん婦人民主クラブ大阪府支部協議会
- 18 追手門大学で講義(水俣病と現在)
- 18 中学校給食のあり方懇話会傍聴
- 19 上映会「終わりをよければすべてよし」
- 19 高槻・市民自主講座
- 20 ふえみん婦人民主クラブ大阪府支部協議会
- 22 農林業の活性化に関する方策検討懇話会傍聴
- 23 芥川商店街新年会 25エコフェスタ2008
- 25 個人情報保護運営審議会傍聴
- 26 第2共働舎花の会竣工式
- 26 CAPみしま・大阪設立30周年記念講演会
- 29 行財政改革懇話会傍聴
- 31 国民健康保険運営協議会傍聴
- 2/ 1 高槻・市民自主講座(ユアサ工場跡地見学)
- 1 地域密着型サービス運営委員会傍聴
- 2 高槻・市民自主講座
- 5 ふえみん婦人民主クラブ大阪府支部協議会
- 6 阪急高架・交通体系対策特別委員会傍聴
- 7 2008たつき産業フェア/市宮川西住宅見学
- 9 高槻・市民自主講座(公開学習会)
- 10 高槻ジェンダー研究ネットワーク(スウェーデン介護)
- 12 国民保護協議会傍聴
- 13 議会活動等検討委員会傍聴
- 14 母子家庭等自立促進計画懇話会傍聴
- 15 上映会「筆子・その愛」
- 15 大阪府後期高齢者医療広域連合議会傍聴
- 16 虹と緑全国政策研究会
- 17 講演会「フィンランドの教育」
- 18 景観懇話会傍聴 19教育委員会定例会傍聴
- 20 史跡等整備特別委員会傍聴
- 20 JR高槻駅北東地区公共施設デザイン検討会傍聴
- 23 ふえみん婦人民主クラブ(東京)
- 26 市街地整備促進特別委員会(3/7)
- 26 告示(議案書をいただく)
- 28 議会運営委員会傍聴 29環境影響評価委員会傍聴
- 29 男女共同参画審議会、図書館協議会傍聴
- 3/ 1 ドーンセンター問題研究会(大阪)
- 2 景観フォーラム2008
- 4 10 11 12 本会議
- 14 建環産業委員会
- 17 文教市民委員会傍聴
- 18 市立芥川幼稚園卒園式 総務消防委員会傍聴
- 20 庄所コミュニティセンター完工式
- 24 議会運営委員会傍聴 全員協議会(政務調査費)
- 27 28 本会議
- 28 ウィメン・イン・ブラック高槻
- 30 市政報告会
- 31 収支報告書提出(大阪府選挙管理委員会)

市政についてのご意見やご要望、またお困りのことがありましたら、ご連絡ください。皆さんの声が「まち」をよくなります。



私は、法的根拠がない「会派視察(1人年間20万円以内)」は行っていません。